

日本初「国家戦略住宅整備事業」認定  
横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業の施設建築物名称を  
「THE YOKOHAMA FRONT／ザ ヨコハマ フロント」に決定

横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合(理事長:中山久招)は、横浜駅きた西口で施行する「横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業(以下、「本事業」という。)」の施設建築物の名称を『THE YOKOHAMA FRONT／ザ ヨコハマ フロント』に決定いたしました。

■ THE YOKOHAMA FRONT／ザ ヨコハマ フロント

「THE YOKOHAMA FRONT／ザ ヨコハマ フロント」には、全国から人々が訪れ行き交う横浜の玄関口横浜駅前(FRONT)において、唯一無二の確かな(THE)シンボルになり、ここから横浜らしさを生み出していきたいという想いを込めました。

本事業が日本初認定となる、「国家戦略住宅整備事業」とは、国家戦略特別区域内において住宅の容積率を緩和することにより、産業の国際競争力の強化および国際的な経済活動の拠点の形成を図るために必要な住宅の整備を促進する事業です。本事業では、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住の促進に向け、グローバル企業の就業者などの生活支援に必要な機能を併設した、防災・環境性能に優れた住宅を整備、提供します。

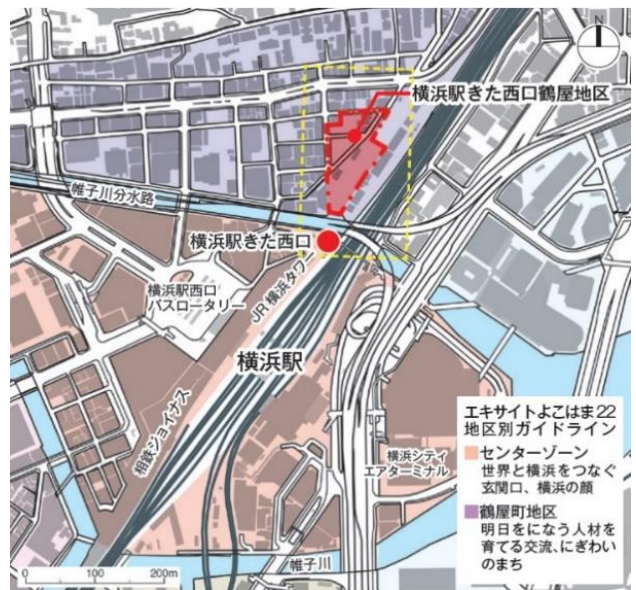
本事業で整備する施設建築物には、総戸数 459 戸の「レジデンス」をはじめ、国際交流と情報発信機能などを備えた「グローバルスカイcommons」や、「ホテル・サービスアパートメント」、「商業施設」で構成されています。

施設建築物の外観デザインの監修には、光井純が代表を務める「光井純 & アソシエーツ建築設計事務所」が参画。横浜駅直結の約 178m もの高さを誇る施設を、「THE YOKOHAMA FRONT／ザ ヨコハマ フロント」という名に相応しい新たなランドマークとしてデザインしました。高さが際立つシンプルで美しいシルエットを横浜駅前に描き出します。



<事業概要>

- 事業名： 横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業  
施設名称： THE YOKOHAMA FRONT / ザ ヨコハマ フロント  
所在地： 横浜市神奈川区鶴屋町1丁目 41 番～45 番(地番)  
最寄り駅： 東急東横線・横浜高速鉄道みなとみらい線・JR 京浜東北線・JR 根岸線・  
JR 東海道本線・JR 横須賀線・JR 横浜線・JR 湘南新宿ライン・JR 上野東京ライン・  
京急本線・横浜市交通局ブルーライン・相鉄本線「横浜」駅  
建築主： 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合  
設計・監理： (株)松田平田設計、(株)UG 都市建築、(株)東急設計コンサルタント JV  
施工： (株)大林組  
用途： 共同住宅(459 戸)、店舗、ホテル、サービスアパートメント、集会場、駐輪場、駐車場  
施工地区面積： 約 0.8ha  
建築敷地面積： 約 6,690 m<sup>2</sup>  
建築面積： 約 4,940 m<sup>2</sup>  
建築延床面積： 約 79,330 m<sup>2</sup>  
建蔽率： 75%  
容積率： 850%  
構造： 直接基礎、鉄筋コンクリート造、  
一部鉄骨造  
規模： 地上 43 階、地下 2 階  
高さ： 約 178m  
工事着工： 2019 年 10 月  
工事完了： 2024 年 3 月予定  
事業完了： 2026 年 3 月予定  
駐車場台数： 約 260 台(うち住宅用約 130 台)  
駐輪場台数： 約 900 台(うち住宅用約 700 台)  
備考： 再開発組合事務局 (株)相鉄アーバンクリエイツ  
参加組合員 相鉄不動産(株)・東急(株)  
総合コンサルタント (株)松田平田設計・(株)UG 都市建築・(株)東急設計コンサルタント JV  
特定業務代行者 (株)大林組



【本件に関するお問合せ先】

横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 事務局

TEL:045-316-3389

<https://yokohama-tsuruya.ssphoto.jp/>